

会 議 録

会議名	第19回まちづくり委員会		
開催日時	平成21年8月10日(月) 午後7時00分～9時00分		
場 所	消防署小会議室		
出席者 (敬称略)	(委員) 垣内勝司、根橋久子、三堀善業、倉田英勇、牛丸喜美子、原美子、小澤一智、赤羽武栄、中谷一美、小林代治、山寺恭子、降旗譽男 (町) 宮原(利)、殿内	出席人数	
		委 員	12人
欠席者 (敬称略)	(委員) 熊谷久司、遠藤清文	町	2人
		計	14人
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 配布資料の確認 4. 協議事項 (1) 手引き書について 5. その他 6. 閉会		
資 料	(当日配布資料)・手引き書案		
会議結果	○手引き書作成の検討をしました。 ○次回委員会 平成21年9月3日(木) 午後7時00分～		
発言者	発言の内容		
副委員長	開会		
委員長	<p>前回の委員会でお話した通り、正副委員長・D委員・事務局にて最終調整を行いました。気づいた点が多々あり、後ほど事務局よりご説明いただきますが、修正を行いました。また、本日最終的に決定して、印刷にかかりたいと考えています。</p> <p>本日の内容については、手引き書の最終確認を行い、その後配布の仕方や評価についての検討を行いたいと思います。難しい内容であります。皆さんから沢山のご意見をいただき、内容が決定できればと思いますので、よろしくお願い致します。</p>		
	協議事項		
委員長	それでは、先日の委員会の後に最終確認で変更した箇所について、事務局より発表していただきますので、事務局よりよろしくお願い致します。		
事務局	配付資料確認		
事務局	前回の委員会でご意見がでたものは、一通り修正をかけました。その後、8月3日(月)に正副委員長さんとD委員さんを交え打合せをした中で、修正をかけた部分がありますのでご説明致します。		
事務局	修正箇所説明		
副委員長	縦線の色が黒色になっている為修正して下さい。		
委員長	それでは、一通り説明していただきましたが、皆さんお気づきの点がございましたらご意見いただきたいと思います。		

A委員	企業はについて、文書の繋がりがスムーズになるよう工夫できればと思います。
委員長	スペースを確保する為、削った部分がありこのような文章になりました。
B委員	企業はの部分で消防団と唱ってあるが、全企業が協力しているわけではない。全企業に協力いただくよう、お願いはしているがそこら辺も考慮した方が良いと思います。
B委員	社員が消防団・奉仕団などで活動しやすいような体制に努めますならいかがでしょうか。
委員長	今の意見については、いかがでしょうか。
委員長	実施的にやっているかやっていないかではなく、一つの方法があるという形で、逆に協力を求めているような意味もあります。
C委員	例えば最後を環境作りが大切です。のような形はいかがでしょうか。
委員長	今の意見については、いかがでしょうか。
D委員	消防団・奉仕団など社会貢献しやすい環境作りが大切です。にすれば、字数も合いますし良いと思います。
委員長	消防団・奉仕団については、すでにそれ自体が社会貢献なので、あえて載せなくても良い気がします。
D委員	指針に載っているのです、そこから社会貢献をもってきました。消防団だけでなく、他にも有る為載せてはどうかと思います。
委員長	それでは、活動しやすい環境を作る事が大切です。に変更をお願い致します。
E委員	隣組・町内会・区の住民参加の部分で高齢者などに参加しやすい雰囲気づくりが大切です。となっていますが高齢者などにの「に」の部分で後の文書との繋がりが無いと思います。
F委員	ーに、ーがを付ける必要は無いと思います。
G委員	ー等はいかがでしょうか。
H委員	都市化現象といわれていますの部分ですが、都市化現象が進んでいます。子供や高齢者など参加しやすい雰囲気作りが大切です。では、いかがでしょうか。
委員長	都市化現象が進んでいます。に変更致します。
H委員	子供、学生、女性、高齢者などの部分ですが、今の文章は細かく区分してさらに「など」を付けているので、まとめて地域住民に変更してはいかがでしょうか。
副委員長	指針の中に住民特に若者や女性が参加しやすいと記載されているので、そこからもってきた文章です。
H委員	現在も昔の地域ぐるみの氏子や親戚主体の地域があり、イベントなど開催しても中々人の集まらない現状がある。それは、新しく入って来る方達に優遇できないので、地域住民の顔を知ることができ、新しく入ってきた方達が参加しやすい環境を作る必要があると思います。地域なりの状況もあり、地域にも個性がある為地域住民でまとめる事も一つの案だと思います。

A委員	協働とは何か考えた場合に現在の文書で良いと思います。地域住民による全体の参加という部分ではその通りですが、この場合は現在の文書がしっくりくるように思います。
委員長	今まで区のごことは、男性主体になっていた部分がありますが、女性の役員や区長をと言う声もあり、公民館の役員など女性の参加が増えてきております。そのような考えの中から女性・学生などをまとめないで載せる事も一つだと思います。
D委員	集まりによっては、男性が出てこなければ困るものもあるので、地域住民にまとめて広い意味合いを持たせておけば良いと思います。
E委員	頭に住民参加と記載があるので、このままで良いと思います。
委員長	それでは、子ども、学生、女性、高齢者など参加しやすい雰囲気作りが大切です。で行きたいと思います。
E委員	行政はの部分で、環境作り・職員の協働意識の醸成・実態の把握と情報の共有の説明文書の頭を揃えた方が見やすくなると思います。
委員長	それでは、揃えるようにします。
委員長	③の部分は終了とし、次に⑤の部分の確認に入ります。
副委員長	お問い合わせはの部分で、どんなことでどこへの部分で書体が違うので、あえて変えずに統一した方が良いと思います。
委員長	全部太字にするようお願いします。
事務局	枠の色は黒でよろしいでしょうか。
副委員長	文字の色と合わせるのではなく、黒で良いと思います。
委員長	よくパンフレットを作る際に、作成の年月を入れますが入れてよろしいでしょうか。
	一同賛成
事務局	どのような形で載せますか。
委員長	2009. 8で良いと思います。また、⑤のお問い合わせはの表右下に記載すれば良いと思います。
委員長	その他は何かございますか。
委員長	見れば見るほど気になる点など出てきて修正に時間がかかりましたが、これにて決定と致します。
委員長	出来た時に配布の仕方や、生かし方についてお一人ずつ意見をいただきたいと思います。その前に、事務局に確認ですが印刷予定部数は何部でしょうか。
事務局	世帯分+ α で10,000部は予定していますが、用途によって変更すれば良いと思います。
委員長	印刷部数は約10,000部ということで、まずは、住民の皆様へ見ていただき、企業などにも関心を持ってもらう事が大切です。それでは、配布方法について一言ずつお願いします。
D委員	8,000は各戸へ配るとして、配布方法は、広報たつのと一緒に配れば良いと思います。プラス α の分は委員会のメンバーがどこかへ出向いてPRする必要があると思います(町政懇談会等)。

I 委員	全戸に配布することは大変良いことですが、配布方法については、お金のかからない方法で行うことが良いと思います。残りの部数は、町内の町民がみるだけではなく、各種団体へ配ったりして、町外の方達が見ることも大切だと思います。
A 委員	D委員の考え方と似ていて、委員会のメンバーでチームを組んで、会合などに出向き一緒に考えたり、勉強する資料に使えば良いと思います。我々が作った責任として、広めていく事が必要だと考えます。配布方法は、広報と一緒に良いと思います。
J 委員	8, 000部は各戸へ。配布方法は、広報で良いと思います。2, 000部はお問い合わせには記載のある3箇所や町役場などに置けば良いと思います。
F 委員	配布については、広報と一緒に良いと思います。また、会合などに出て広めて行ければ良いと考えます。
C 委員	配布については、皆さんと同じ意見です。企業にも配布する方が良いと思います。
B 委員	全戸配布で良いと思います。辰野新聞に取り上げていただければ、より活用されると思います。町内企業にも配布が必要と思います。
G 委員	各家庭に配布する前に、一度イベントを開催するべきだと思います。町民会館などに集まりスライドなどで、説明をして協働に関心を持ってもらう必要があります。堅苦しい形では無く、お祭りムードのような雰囲気で行えば関心を持ってもらえると思います。また、問い合わせに記載のある3箇所には最低でも置くべきだと思います。
委員長	イベントは、何かのイベントに乗っかるのではなく、協働のまちづくりに関するイベントを開催するというのでしょうか。
G 委員	一度は開催した方がよろしいと思います。人が集まる方法を考え、少しでも多くの人に来てもらえばと思います。
E 委員	手引書に記載のある方や広報の協働のまちづくり紹介コーナーに掲載された方などに出させていただいて、舞台発表を行いたいと考えます。事例を紹介していただき、自分達では意識していないけれども、協働のまちづくりの一つだと言うことを発表者にも理解いただき、それを皆で聴く事により町民の協働に対する理解が深まれば良いと思います。また、講師などを呼び協働の事例や取り組みを紹介する事により、イメージがかなり湧くと思うので、2, 000部については、その場で配布したり、問い合わせに掲載のある3箇所+町役場などに置いていただければ良いと思います。
H 委員	特に区長会に、委員長さんに来ていただいてPRしていただきたいと思います。企業に対しても商工会を通してPRしていけばと考えます。また、配布について様々な方法があると思いますが、企業抜きでは協働のまちづくりは成り立たないと思うので、全世帯への配布と企業にも配布をお願いしたいと思います。転入者へ協働のまちづくりについてPRする為にも転入の際に町の窓口で配布していただきたいと思います。
副委員長	皆さんの意見を聞く中で活用の仕方、評価の仕方、イベントをする部分で重ねて考えれば良いと思いました。また、イベントを持つ事により意識の改革になるので良いかと思いました。

委員長	それぞれ、活用の仕方についてお考えいただき、効果的な配布についてもお話しをいただきましたが、私は当初広報に挟んで配布するよりも、何かの行事（町政懇談会・各種団体の打合せ・防災訓練など）で配布すれば良いと思いました。区の役員に十分に理解していただいたりする事が、大切かと感じていました。全戸配れば8,000戸には行き渡り格好がつくが、残り2,000部で町内の組長さんに読んでいただいたり、回覧等で周知できれば良いと思います。全戸配っても、読んでいただけない可能性があるのので、ボランティアセンターや区長さんをお願いし徹底的にPRしていただければと考えます。また、作成した事を皆さん知らないと思いますのでメディアを通じて宣伝もできればと思います。
委員長	ありがとうございました。皆さんの意見を聴いた中で何かありますか。
B委員	私の意見は、様々な行事に参加する人ばかりで無く、この手引書は非常に重い物だと言う事をPRして、全員の方に協働のまちづくりを知ってもらう事が大切だと思います。その為には、全戸配布が必要だと思います。
A委員	今の意見の通りだと思います。先に手引書を配るのでは無く、周知して見たい気持ちが出る方が出てきた頃に、この手引書が行き渡ると効果的だと思います。
H委員	これだけ積み上げてきた物なので、配りっぱなしにならないように、区長会で良く区長に理解してもらい、我々も活用できればと思います。区長も変わりますので、単発にならないように、2年、3年と続けていただきたいと思います。
J委員	私も自分自身が持っていたいので各戸に配って欲しいのですが、どこかに「保存版」と記載をいただければと思います。保存版を入れることにより、少しでも重く感じてくれる方が増えると思います。
委員長	それでは、入れていただくようよろしくお願い致します。
委員長	今後の日程ですが、区長会で区長さんに理解していただいて全戸配布していきたいと思います。
C委員	区長会で委員長さんにPRしていただいてから配布が良いと思います。
委員長	メディアについては、その後の方が良いですかね。
C委員	メディアは区長会と同時でよいと思います。
B委員	議会にも話をした方がよいと思います。
A委員	9月議会全協（9/9）にて話しをしたいと思います。
委員長	9月9日全協、区長会9月25日にてPRするという日程でいきたいと思います。
	次回は評価についても検討したいと思います。
委員長	次回委員会は9月3日（木）午後7時からお願いします。
副委員長	閉会